

(様式2(1))

事業所名 グループホームしゃくなげ

目標達成計画

作成日: 平成 22年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21 26 46	開設6年となり、入居者の高齢化及び認知症の進行が見られる。個別ケアの量が増えスタッフが対応に追われている状況です。	帰宅願望の訴えが強く、度々外に出られる方が2名おられる為、対応に時間の多くを割いている状況なので、落ち着いて生活して頂くようにすることが必要と考えている。	ケアプランの見直しを繰り返し統一的な対応してゆく。精神科等の専門的アドバイスを受ける。	6ヶ月
2	49	買い物の中止や冬季であること等外出が困難な状況はあるが、外出の機会を多くとる必要がある。	日常的に戸外に出る機会を考える。	食堂前のデッキの利用、畑作業草引き、散歩等少しの時間を利用し日常化できるように検討する。	3ヶ月
3	13	法人の理念を理解できる職員が育っていない。充実した施設外研修があまりない。	OJTが出来る職員を育成する。	代表者より会議等で説明の機会を設ける。引き続き県認知症実践研修に参加をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。